

第四十五回帝國議會
衆議院

破産法案外一件

和議法案
裁判所
司法事務共助法中改正法律案

委員會會議錄(速記)第七回

會議

大正十一年三月十七日午前十一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田

理事 麓

理事 純義君

理事 重一君

理事 野副

理事 岩崎幸治郎君

理事 水野吉太郎君

理事 作間 排逸君

理事 櫻内 幸雄君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

理事 三宅正太郎君

理事 山内確三郎君

理事 池田寅二郎君

ニ對シテハ、左様ナ觀念ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、其運用ニ付キマシテハ、特ニ司法當局ニ對シテ此際慎重ノ御注意ヲ警告シテ促カシテ置キタイモノガアルノデアリマス、ソレハ現行法ノ下ニ於テ、破産者ヲ商人ニ限ルノデアリマシ、之ヲ更ニ一般ノ押據ガル時ニハ、今後ノ輻輳停滯ハ、一層甚シキモノアルコトヲ今ヨリ思ヒヤラレルノデアリマス、尤モ管轄ガ地方ヨリ區ニ移リマシタノデアリマスカラ、此點ニ於テ幾分緩和ガ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、併シ區裁判所ニ於テハ、十分敏捷練達ノ士ヲ迎ヘテ其任ニ當ラセテ裁カケレバ、吾々ノ不安ハ除カレナイノデアリマスカラ、此點ニ御注意ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ破産申立ノ債權ハ、單ニ財產上ノ請求權ト相成ッテ居リマスカラ、必シモ手形等ノ多イモノモ多クアルノデアリマス、從テ現在ノ地方裁判ニ於テサヘ、扱ヒ兼ネル場合ガ多イノデゴザイマスカラ、區裁判所ニ於テ債權ヤ借金債權ノヤウニ、原因數額ノ争ノ少イモノ許リトハ限リマセヌ、損害賠償其他色々原因數額ニ付テハ、一層其債權ノ性質ニ着眼セラレテ、有モ債權ノ實質及主ナル數額ノ争ノアリマス場合ハ、破産ノ申立ヲ受付ケルトカ、或ハ受付ケナイトカ云フコトニ付テ、明確ナル判斷ヲ下シテ裁カケレバナリマセヌ、之ニ付テモ只今申上ゲマス通り、區裁判所ノ擔當判事ヲ大ニ優遇シテ、相當ノ人土ヲ選拔セラレル必要ガ一層多カラウト思ヒマス、ソレカラ第二ハ破産ノ豫納金ノ決定ニ對シテ、不服ヲ申立テルコトガ出來ナイコトニナッテ居ル、是ハ小サイ問題ノヤウニ見エマスケレドモ、其實破産申立者ニ取リマシテハ、自分ノ債權方同收不能ニナル場合ニ、更ニ豫納金ヲ相當期間立換ハメ納メサセラルルノデアリマスカラ、二重ノ苦痛ヲ感ズルノデアリマス、從テ裁判所ニ於キマシテハ、此豫納金ノ決定ニ不服ヲ申立テルコトヲ途ヲ塞ガレタト同時ニ、其豫納金額ハ常ニ必要ナル限度ニ於テ、必要ナル最小限度ニ於テ御決定メ下サルヤウナ方策ニ出デラレンコトヲ望ミマス、此點ハ過去ノ實例ニ於テ、屢破産債權者ガ其申立ヲ爲サントシテ爲スコト能ハザル苦痛ヲ嘗メテ居タ點デアリマスカラ、敢テ申添ヘテ置ク次第デアリマス、ソレカラ第三、破産者ガ支拂不能ニ瀕シマシテ、往々形式上ノ合資社、株式會社等ヲ設立シテ、以テ債權者ニ對スル一時ノ急ヲ防グ場合ガアルノデアリマス、實際ニ於テ其例ガ多イノデアリマス、所謂不拂會社ノ設立ト云フコトデアリマス、

此點ニ付キマシテハ、改正法案ヲ以テ致シマシテハ、實際ニ此會社ノ設立ヲ否定スル途ガアリマセヌ、矢張一般ニ否認權ノ行使ニ依ッテ救済ヲ求ムルノデアリマスガ、單ニ否認權ノ行使ダケデハ、此會社ノ設立ヲ否定スルグケノ法理上並ニ實際上ノ效果ガ至ッテ乏シク、且ツ色々不都合ノ場合ヲ生ズルノデアリマスカラ、自分共ノ觀察ノ如ク、此法案ノ解釋上、其點マデヲモ含ムコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタナラバ、司法當局ハ此近來ノ弊害ニ鑑ミラレマシテ、其場合ニ處スル所ノ適確ナル法律ヲ制定ニ付テ、一應ノ御考慮ヲ願ッテ置キタイと思ヒマス、其次ハ本案ハ送達ヲナスベキ場合、裁判所ニ於テ自由ニ公告ヲ以テ之ニ代ヘラレルコトニナッテ居リマス、自分共ノ希望トシマシテハ、送達ヲ公告ニ代ヘルコトハ、必シモ不可デアリマセヌケレドモ、ソレハ送達ガ不可能ノ場合、若クハ著シキ手數ト費用トヲ要スル場合トニ制限ヲシテ、實際ノ施行ヲシテ裁キタイと思フノデアリマス、現在ノ公告方法ハ、改正案ニ於テモ別ニ改マデテ居リマセヌ、即チ市町村役場ノ前ニ揭示スル、是モ實際ニ於テ餘リ人ノ注意ヲ惹キマセヌ、新聞紙ノ公告モ、廣告料ヲ節約セラレル爲デモアリマセヌ、效能ガ乏シイノデアリマス、ト云フヨリハ殆ド人ノ目ニ觸レ難イ、デ公告ノ場合ニ於テモ、新聞ノ廣告或ハ市町村役場ノ揭示等、夫レノ相當ノ費用ト手數ヲ要スルノデアリマシテ、其點ハ送達ト何等異ル所ハナカラウト思ヒマス、シテ見マセバ私ハ飽クマデ利害關係人ニ對シテハ送達ヲ本位トシテ、前ニ述ベマシタ已ムヲ得ザル場合ニハ、公告ヲ以テ之ニ代ユルコトヲ得ル、サウシテ利害關係人ノ不測ノ損害ヲ少ナカラシムルコトニ御注意ヲ願ヒタイ、最後ニ罰則ノ點デアリマス、詐欺破産ノ罪ノ中ニ、現行破産編ノ規定以外ニ、新ニ破産宣告ノ前後ヲ問ハズ自己若ハ他人ノ爲ニ債權者ノ不利益ニ財產ヲ處分シタルト云フ項目ヲ加ヘラレテ、之ヲ他ノ不正惡辣ノ手段ヲ以テナシタル財產ノ隱匿毀棄ト同様ニ處罰セラル、コトニナリマシタ、是ハ刑罰法規ノ原則ニ照シテ、成ベク狹義ニ適用セラレマシタナラバ、別ニ不都合モゴザイマスマイケレドモ、若シ之ヲ廣義ニ適用相成ルコトニナリマスト、ドウシテモ法律ノ正面解釋トシテハ、債權者ガ債務ヲ負ウテ、自分ノ一家ノ經營生活、或ハ債權者ノ急迫ナル催促ニ關ヘ兼ネテ、自分ノ財產ヲ安全金ニ代ヘテ、之ヲ支拂タ場合ヲモ含メラレ、處分サレテモ致方ナイト云フヤウナ不安ヲ懷キマスコトハ、質問ノ場合ト同様今日ニ於テモ矢

破産法案

裁判所構成法中改正法律案
司法事務共助法中改正法律案

○前田委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、破産法案ニ付テ討論ヲ致シマス

○岩崎委員 私ハ貴族院ノ修正通り可決アラントラ希望致シマス

「贊成」贊成ト呼フ者アリ

○作問委員 本案ニ付キマシテハ、司法當局ノ御努力ニナリマシク司法制度改革案ノ一ト致シマシテ、成程現行法タル舊商法破産編ニ比シテ、一段ノ進歩ト一擲ノ新シ味トハ之ヲ認ムルニ躊躇致シマセヌケレドモ、其内容ヲ具サニ點檢致シマスルト、満足ヲ表シ難イ點ガ多イデアリマス、第一管轄裁判所ノ點ニ於テ、第二罰則ノ點ニ於テ、其他色々アリマスケレドモ、管轄裁判所ノ點ハ、自然破産者ヲ商人以外ニ非商人、即チ一般人民ニ及ボスコトノ是非如何ト云フヤウナ問題ニモ關聯シテ參リマシテ、結局主義ノ問題トモ相成ルノデアリマス、斯様ナ立法上ノ主義ニ關スル事マデヲモ、只今此處デ私共ノ思フ様ニ修正ヲ施スコトニ相成リマス、本案ノ生命ヲ害スルニ至リマスカラ、暫ク當局ノ努力ニ免ジテ、本案施行後ノ實績ニ徴シ、其上ニテ修正ヲ考フルト云フコトハ、他日ノ機會ニ俟タウト思ヒマス、唯本案

張之ヲ感ズルノデアリマス、尤モ債務者ガ自己ノ不當ナル支拂等ノ爲ニ財産ヲ極ク安ク、所謂投資デモシタ場合ニ、之ニ觸レルト云フコトハ致方アリマセヌ、ソレハ法律ノ解釋カラ言フモ相當ト思ヒマスケレドモ、先ニ申述ベマシタヤウナ場合モ包含セラレハヤウナ解釋ノ出來ル餘地ガ法律ノ正面デゴザイマセカラ、サウ云フ普通ノ事情ノ場合、世間實際ニアリ觸レテ起ル問題ニ對シマシテハ、此法條ヲ正面カラ適用ナサナヤウナ方針ヲ御採リ下サルコトヲ特ニ御注意ヲ促カシテ置ク次第デアリマス、今一ツハ其項ノ條ノ元ノ過意破産——本案ニハサウ云フ名稱ハアリマセヌガ、野副サンカラモ屢々御意見ノ出マシタ如ク、單ニ債務者ガ債權者カラ責メラレテ、債務ノ返済ガ出來ナイ爲ニ、一時擔保ヲ代リニ供用シタト云フ場合ニモ、矢張有罪破産ト云フコトニ相成ルコトモ、法律ノ正面解釋カラハ含マレデモ致方ナイヤウナ規定ニナッテ居リマス、斯ウ云フ事ハ、全ク債務者ガ支拂ヲ停止シ、若クハ不能ニナツタ場合ニハ、多クノ場合伴テ起ル現象デアリマス、若シ法律ノ正面カラ且ツ廣ク認メラレテ、適宜セラレタラバ、凡ソ破産者ニシテ有罪破産ナラザルモノハ、蓋シ一人モナイヤウナ結果ニ相成ラストモ限リマセヌ、此點ニ關シマスル山内府委員ノ司法當局トシテノ御見解、御意思ノアル所ハ能ク諒ト致シテ居リマスケレドモ、全國ノ各地方裁判所、區裁判所ノ判事諸君、殊ニ今度ハ地方裁判所ノ單獨デナク、區裁判所ガ管轄スルコトニモナッテ居リマスカラ、多數ノ司法官ノ中ニハ、法律ノ正面カラ解釋モ出來ルト云フ意味デ、司法當局ノ御眞意ノ存スル所ヲ酌マレズ、敢テ非常識トカ何トカ申ス譯デアリマセヌガ、唯解釋上致方ガナイ、已ムヲ得ナイト云フヤウナ主意ヲ以テ、有罪破産ト云フコトニ認メラレ易イト云フコトハ、私共ノ非常ニ不安ト懸念ニ堪ヘナイ所デアリマスカラ、此點モ亦前段申上ゲマシタ通り、サウ云フ事ノ無イヤウニ、司法當局カラ全國ノ司法官ニ對シテ相當ノ御注意ヲナサレテ、司法當局ノ考ヘテ居ラレル御精神ガ、一般ニ貫徹スル様ニ、相當ノ御取計ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、デ私ノ申上ゲマシタコトハ、是ガ希望トモ見ラレマセウ、注意トモ見ラレマセウ、或ハ進ンデ警告トモ見ラレカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角私共——本案ニ對シテ、何方カト申セバ、衆議院ヨリ緣故ガ比較的淺イ貴族院デサヘモ、一部ハ修正ヲ加ヘラレテ通過シタニモ拘ラズ、私共ガ茲ニ敢テ修正ヲ致シマセヌノハ、本案ノ生命ヲ害スルコトヲ憂ヘマスノデ、修正說ハ述ベマセヌケレドモ、左様ナ意見ヲ以テ本案ニ賛成ヲ表スルモノデアルト云フコトヲ茲ニ特ニ明ニ致シテ置キマス

○渡邊委員 破產法ニ對シマシテハ、司法當局ニ於テ十分

ノ調査研究ヲ重ネラレマシテ、此成案ヲ得ラレタノデアリマスカラ、大體ニ於テ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ此法案全體ヲ通ジテ精讀致シマスルト、多少ノ修正ヲナスベキ點ガアルト信ズルノデアリマスガ、此機會ニ於キマシテハ三ツノ希望事項ヲ申述ベマシテモ此案ニ賛成ヲ表シマス、三ツノ希望事項ハ、第一ガ破産事件管轄裁判所ノ點デアリマス、第二ハ本法第四編ノ罰則ニ關スル點、第三ハ本法施行ノ期日ニ付テノ點デアリマス、第一ノ破産事件ガ、總テ本法ニ依リマス、區裁判所ニ於テ專屬管轄ヲナスコト云フコトハ、法曹社會ニ於テモ隨分議論ノアル事柄デアリマシテ、或ハ小破産ニ對シテハ、區裁判所ヲ以テ相當ナリトシ、或ハ普通破産ニ於テハ、地方裁判所ヲ以テ相當デアール、或ハ全體ヲ通ジテ破産事務ト云フ事柄ハ、其破産者ガ支拂不能ノ狀態ニ至リシヤ否ヤト云フ點ハ、甚ダ重要ナル審査ヲ要スルコトデアリマスカラ、之ヲ全部地方裁判所ノ管轄ニスルガ相當デアルト云フ議論モアルノデアリマス、又外國ノ立法例ニ依リマシテモ、政府委員ヨリ御示シナリマシタ書面ニ依リマシテモ、區々ニナッテ居リマス、或ハ單獨裁判所ニ於テ破産事務ヲ取扱ッテ居ル所モアル、又合議制ニ於テ地方裁判所ノ管轄ニ屬シテ居ル所モアルノデアリマス、是ハ餘程此點ハ此法案ノ全體ヲ通ジテ、重大ノ關係ヲ持ツ事柄デアラウト思フノデアリマス、殊ニ本法案ニ於テハ、一般主義ヲ採リマシテ、商人非商人ノ區別ヲセヌコトニナッテ居ルノデアリマス、且ツ金額ノ如何ニ拘ラズ、數方圓、數十方圓ノ破産事件ト雖モ、區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フト云フ法ノ精神デアリマス、故ニ金額ノ上ニ於テ無制限デアリマス、又商人非商人ヲ問ハナイ、斯ウ云フ意味カラ申シマシテモ、此破産者ト云フモノハ、破産ノ狀態ニ在ルカドウカト云フコトノ決定ヲ爲スト云フコトハ、極メテ破産者ニ取リマシテ、重要ノ關係ヲ持ツノデアリマス、ソレ故ニ當局ノ御説明ニ依レバ、手續ハ迅速ヲ貴ビ、監督ノ統一ヲ期スル、斯ウ云フ意味ニ於テ區裁判所ニ專屬セシムルガ宜イト云フ御趣意ニナッテ居リマスガ、是モ一面道理アル御意見ト存ジマス、故ニ希望ト致マシテハ、區裁判所ニ於テ破産事務ニ當ラレル所ノ判事ニ對シマシテハ——司法官ニ對シマシテハ、今日司法當局ノ御説明ノ如ク、專門ノ判事ヲ以テシテ充テル、專門ノ申シマシテモ、ドウ云フ方法デ御選任ニナルカ判リマセヌガ、十分慎重ナル其點ニ付テハ御注意ヲ乞ウテ、其當ラレル所ノ判事ニ對シテハ、相當優遇ノ途ヲ講ゼラレシコトヲ希望致シマスノデアリマス、サウ致シマスレバ、此單獨制ニ致シマシテモ、大シタ弊害モナク、此法案ノ趣旨ガ徹底スルト思ヒマス、其事ヲ希望シタイノデア

リマス、第二ノ罰則ノ點デアリマスガ、之ハ三百七十四條三百七十五條、破産者ニ取リマシテ、又破産者以外ノ第三者ニ取リマシテ、此破産事務ニ關係致シマス者ハ、第三百七十四條懲役十年以下、三百七十五條ノ五年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金、斯ウ云フ餘程重キ體刑ナリ、罰金ノ額モ多イノデアリマス、サウシテ條ヲ見マスト云フト、只今作問君カラモ御話ノゴザイマシタ通り、正面ノ解釋ノ上カラ見マスト、隨分疑義ノアルコトガ多イノデアリマス、ソレ故ニ此罰則ノ條項ニ付キマシテハ、特ニ解釋ノ上ニ於テ、立法者ノ御精神ガ、其破産事務ヲ執ラレル司法官ニ徹底スルヤウニ、解釋ノ統一ヲ御圖リヲ願ヒタイ、立法ノ精神ハ斯ノ如キモノデアルト云フコトニ付テ、適當ナル方法ニ依ッテ、解釋區々ニ出デザルヤウ、當局ガ本委員會ニ於テ御説明ニナツタヤウナ趣旨デアルト云フコトヲ、御取扱ニナル判事ニ向ッテ徹底スル途ヲ講ゼラレシコトヲ望ミマス、第三ノ實施期限デアリマスガ、本法案ニ依リマスルト、附則ニ於テ本法實施ノ期限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトナッテ居リマスカラ、何レ勅令ニ於テ相當ノ期間ヲ置カレテ、サウシテ破産事務ニ當ラレコトモ一年以上ノ期間ヲ置カレテ、サウシテ破産事務ニ當ラレル所ノ司法官ニ對シテ、相當其間ニ於テ研究セラレル餘地ヲ與ヘラレ、又民間ニ向ッテモ、ソレニ對シマシテハ相當ニ之ヲ周知セシメ、知ラシメルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、或ベク長ク實施期ト云フモノヲ長キ間ノ猶豫ヲ與ヘテ置カレテ、實施セラレルヤウニシタイ、斯様ニ考ヘマ

ス、此點ニ依リマシテ本案ニ賛成ヲ表スル者デアリマス、尙ホ只今ノ希望事項ニ對シマシテハ、委員長ヨリ本會議ニ於テ御報告ノ際ニ於テ、附加ヘテ御報告アラシコトヲ希望致シテ置キマス

○岩崎委員 私ハ一寸議事ノ進行ニ付テ御致シタイノデアリマシタガ、只今昨問君並ニ渡邊君ノ御言葉ノ中ニ、本案ニ賛成ヲスルト云フコトデアリマシテ、之ハ本案自體ヲ仰シヤルノデアリマセウカ、或ハ修正サレタル貴族院ノ修正案ニ御賛成ニナルト云フ意味デアリマスガ

○渡邊委員 私ハ此貴族院ノ修正ノ簡條ガ六箇條ニ互ッテ居リマスガ、大體ニ於テ原案ノ趣旨ヲ明ニシタト云フ意味デアリマスカラ、修正ニ賛成致シタイモノデアリマス

○作問委員 同様ナ意味デアリマス

〔採決〕採決ト呼フ者アリ

○前田委員長サウスルト採決致シマス、岩崎君ノ此所謂貴族院ノ修正ニナッテ居リマス本案ニ付テ賛成ノ諸君ハ舉手ヲ願ヒマス

〔贊成者 舉手〕
○前田委員長 全會一致デアリマス、全會一致可決ニナリ

マシタ、ソレカラ和議法ノ討論ニ移リマス

○岩崎委員 贊成

○前田委員長 岩崎君ノ發議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○前田委員長 全會一致デ和議法案ハ可決致シマシタ——ソレカラ裁判所構成法中改正法律案ノ討論ヲ始メマス

○岩崎委員 此改正ハ破産法ノ改正ニ伴フ結果トシテ、爾カアルベキコト、存ジマス、原案ニ贊成致シマス——刑事訴訟法ノ改正ニ伴フ結果、共ニ必要ト思ヒマスカラ贊成致シマス

○前田委員長 岩崎君ノ動議ニ御贊成デゴザイマスカ

〔贊成〕異議ナシト呼フ者アリ

○前田委員長 サウスルト全會一致本案ハ可決致シマシタ、續イテ司法事務共助法中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、其討論ヲ……

○岩崎委員 是ハ條約ノ結果、當然ノコトト信ジマスノデ、原案ニ贊成致シマス

○渡邊委員 此案自體ニ付テハ、別ニ異議ハゴザイマセヌガ、是ハ南洋ニ事務廳ヲ置カレト云フコトデ、關東廳同様ニスルト云フノデゴザイマスカラ、本案自體ニハ贊成デアリマスガ、取扱ノ上ニ於テ、時トシテ苦情ヲ附クノデアリマスガ、或ハ此關東州等ニ於キマシテ、事件ヲ御取扱ノ際ニ於テ、法律上實ニ重キヲ置カザル爲、或ハ憲兵若クハ巡查等ノ聽取書ト云フヤウナモノニ付テ、非常ニ御取扱上重キヲ於カレテ、法律上效果ノ無イモノデモ、尙且ツ效果アルカノ如クニシテ重キヲ置カレテ居ルヤウナ取扱ノアルヤウナ説ヲ聞クノデアリマス、是ハ他日十分ニ此法ノ適用ノ上ニ於テ御注意ヲ希望致シマス

○前田委員長 本案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○前田委員長 本案ハ全會一致贊成デアリマシテ、原案ニ可決セラレマシタ、是デ四案共可決致シマシタカラ、今日ハ是デ散會致シマス

午後零時十一分散會

大正十一年四月四日印刷

大正十一年四月五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局